

札 54  
1532

栲陽落穂集序

明治四十年九月十八日  
朝倉龜三氏寄贈



秋意因乃穂日る言と老翁婦志利と  
上はまきけり婦らに代温ふか愛ありと  
事しれは月あふふふのわらわ  
ひ〜幾回成るもあふふ〜  
は〜同如め毎に〜あふふ〜  
名もはれは法も〜  
是は〜り〜博〜る〜を〜か〜る〜女〜が〜殺〜の



- 一 上納斗首久二ら〜長又
- 一 岡方性切法〜事
- 一 夢の家御浄息御紙之長又  
希〜熱斗首〜事
- 一 辻吉の字自中取〜事  
希〜寒斗首〜事
- 一 辻吉浪信付從文〜事
- 一 津町老行〜人〜長又
- 一 大坂三つ〜事  
希〜時珍大お〜事
- 一 天海天神〜事  
希〜徳の長共〜事
- 一 堂〜白性合系〜事  
希〜梅れ津〜事
- 一 糸相陽津〜事  
希〜白〜事

大坂古岡〜事

大坂とら〜化名古〜事  
 おり〜日本記〜事  
 正月天皇納ラハ田皇サヲ將力妃時皇后賜答

方日

阿佐豆腐能避久能鳥瑳久鳥  
 夕多那耆珥添致喻區茂能  
 茂多愚譬三序豫扱





ハツ成納ノ

八千九百拾名七斗き年八合余

下付き名舟浦武指月留

付浦高里拾名九百拾四合余

田方姓白浪

いんぢの田の二家... 村天下... 畑と... 貴人...

長流高の四十五... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

大南... 日る... け...

元和三年九月...

鳥 村 浪  
店 村 九  
大 五  
丈

九高きし

七修の事書はしる海の〜 行吉全集の辨に  
 象の指神とちのり〜 今の高出の事  
 十〜 指神とちのり〜

賞家神降答はる

えれと平し和乎り流字及新那の正梅は海  
 内及紅字字及定毒いえれと平あり〜  
 玉送の梅根核は字及高橋のらぬと水及所  
 昔の〜 えれと平し和乎り流字及新那の正梅は海  
 西津藩の事流田能前字と出〜 十〜 十〜 十〜

中母は國入り〜 舟の舟と居其の事〜 元同改〜  
 則方丈死し〜 の舟〜 後と居〜 舟の舟〜  
 り〜 舟〜 舟の舟〜 の舟〜 舟の舟〜  
 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜  
 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜

舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜  
 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜  
 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜  
 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜  
 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜 舟の舟〜



家徳鋪 常盤寺

一丈二河「平月」長尾家徳常盤寺表の  
之間表に在る「永年表」中以「新判」永作常盤  
中心得のあり

え如ら乎

庚申十一月十九日

清 清虎

久 忠虎

大徳清は未出は、永年表に因縁家を、極中極中徳清

中之員因縁を極中極中徳清を、極中極中

徳清は、極中の徳清を、極中極中

注古の家首の徳清

一丈二河「平月」長尾家徳常盤寺表の  
之間表に在る「永年表」中以「新判」永作常盤  
中心得のあり

永永上 曆成 五月 日 寺 正 順 判

清 河 常

注古の寺に清徳文とあり、七神の徳清の徳清は、  
永永上 曆成 五月 日 寺 正 順 判  
百姓一揆とあり、徳清の徳清は、

中紙のり静謐の語實文の半より  
人別はあつた人別はあつた  
官制を拝見合寺に連判法に  
小寺より小寺に連判法に  
のり紙と合紙の中  
文書もあつた  
中紙のり静謐の語實文の半より  
人別はあつた人別はあつた  
官制を拝見合寺に連判法に  
小寺より小寺に連判法に  
のり紙と合紙の中  
文書もあつた

古銀箔付文書

信託中紙のり

一紙のり紙目

中紙のり静謐の語實文の半より  
人別はあつた人別はあつた  
官制を拝見合寺に連判法に  
小寺より小寺に連判法に  
のり紙と合紙の中  
文書もあつた

信託中紙のり

中紙のり静謐の語實文の半より

号の今彼等信じてゐるもの極分を  
事よきことと信じてゐる人々の心を  
ふつと西暦と云ふものから神の御  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を

河津の事

之を以て人の事と云ふ事よきことと  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を

大坂の事

之を以て人の事と云ふ事よきことと  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を

大坂の降と大坂の降

大坂の降と大坂の降と云ふものから  
御事よきことと信じてゐる人々の心を  
御事よきことと信じてゐる人々の心を

今世人は皆これを知りてゐる事よきことと

吉野の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

備前守の連

三浦三神一宮は

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより  
古くより三浦郡三浦村に在りて古くより  
古くより三浦郡三浦村に在りて古くより  
古くより三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

三浦三神一宮は三浦郡三浦村に在りて古くより

多治の誓いなるはあはれなる梅又  
首治の誓いなるはあはれなる梅又  
ふたつ目もあはれなる梅又  
二月の誓いなるはあはれなる梅又  
三月の誓いなるはあはれなる梅又  
菅原の誓いなるはあはれなる梅又  
西成の誓いなるはあはれなる梅又

元禄十四年三月

初日 智礼  
十五日 満庄

春雨朝行

春の雨のあはれなる梅又  
梅のあはれなる梅又  
梅のあはれなる梅又

初蝶のあはれなる梅又 別表

大坂の誓いなるはあはれなる梅又  
大坂の誓いなるはあはれなる梅又  
大坂の誓いなるはあはれなる梅又

堂治の誓いなるはあはれなる梅又

大坂の誓いなるはあはれなる梅又  
大坂の誓いなるはあはれなる梅又  
大坂の誓いなるはあはれなる梅又

「清の書寫を始むるは漢の書寫に數文又  
人教のりまりて北漢流の楷の流に  
を渡りたるは宋相場の始なり

清の書寫は漢の書寫に數文又  
人教のりまりて北漢流の楷の流に  
を渡りたるは宋相場の始なり  
清の書寫は漢の書寫に數文又  
人教のりまりて北漢流の楷の流に  
を渡りたるは宋相場の始なり

清の書寫は漢の書寫に數文又  
人教のりまりて北漢流の楷の流に  
を渡りたるは宋相場の始なり  
清の書寫は漢の書寫に數文又  
人教のりまりて北漢流の楷の流に  
を渡りたるは宋相場の始なり

紙屋信濃守の御書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書  
お場一の中世の古人の書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書  
お場一の中世の古人の書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書

お場一の中世の古人の書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書  
お場一の中世の古人の書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書  
お場一の中世の古人の書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書  
お場一の中世の古人の書  
唐海一の中世の古人の書  
お場一の流石の御書  
昔の御書



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The characters are dense and difficult to decipher without a key, but they appear to be a mix of letters and symbols.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The characters are dense and difficult to decipher without a key, but they appear to be a mix of letters and symbols.





人店十之書附とて仲實津橋に於ては  
しゆりゆり後

寛保元年酉年相浦河内守様依り由緒  
清きりし時中橋れ焼く下り及た



忍多と 有徳院殿様津威徳舟一人  
たしゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

たしゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
たしゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

意田と前島ゆり信徳ゆり相平七多  
西尾温徳ゆり津島ゆり細田丹波  
寺社清きりゆりゆりゆりゆりゆり  
輪毛子ゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
福生流路子ゆり相平日向子  
あまをゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
古本ゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
あまゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり



活徳集より二巻

一 堂の古縁馬の事

并同く古縁馬の事

一 什音の事

一 高橋の事

并同く泥地の事

一 業平井の事

一 ころも山福の事

并同く山福の事

一 長井の事

并同く長井の事

一 野里村の時上掲の事

一 牛の教入の事

一 万道の事

一 山崎の事

一 大塚の事

并同く大塚の事

一 十名貝の事

一 舟の事

一 木々の事



Handwritten text in a cursive script, likely representing a list of names or geographical locations. The text is written vertically on the right page of the manuscript.

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or a specific entry.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text in the lower middle of the right page.

Handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text, possibly a specific name or location, written in a larger or more distinct script.

Handwritten text, possibly a specific name or location, written in a larger or more distinct script.

Handwritten text in the lower middle of the left page.

Handwritten text in the lower middle of the left page.

Handwritten text in the lower middle of the left page.

Handwritten text at the bottom of the left page.





捐村金浦

一一村とある村に引かたしりし程に  
い徳を主馬西幸のりちる中情向

空<sup>カウ</sup>

濠<sup>ホ</sup>

カウ濠<sup>ホ</sup>は  
カウ濠<sup>ホ</sup>は

十二溪

十二溪<sup>カウ濠</sup>  
十二溪<sup>カウ濠</sup>は

亦曰溪

亦曰溪<sup>カウ濠</sup>は

住者又踊子文

住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>  
住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>は

住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>は  
住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>は  
住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>は  
住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>は  
住者又踊子文<sup>カウ濠</sup>は

高橋川集市之事  
余情も深く集まの神も

高橋川集市之事

高橋川の集市は、毎朝川岸の市に於て、  
商人も集りて、舟を載りて、高橋川に  
集りて、舟を載りて、高橋川に

高橋川の集市は、毎朝川岸の市に於て、  
商人も集りて、舟を載りて、高橋川に  
集りて、舟を載りて、高橋川に

合ぬる心持〜いんせのむす

兼平の井筒之事

湯の川に流る井筒の事井筒の事といふは  
其事古にありし井筒をよし中古に丹之橋寺  
河原より院より海まで流る事其の事  
此の相あらざる所なりし事なりし事なりし  
集し之に与る事なりし事なりし事なりし  
井筒と自慢可投なりし事なりし事なりし  
け井筒と〜し事なりし事なりし事なりし

〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし

〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし  
〜の事なりし事なりし事なりし



Amos 1. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

Amos 1. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

Amos 1. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'S'.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'S'.

甲辰温帖

草书行书，内容为《温子升帖》的局部，文字包括“温子升”、“温子升”、“温子升”等。

草书行书，内容为《温子升帖》的局部，文字包括“温子升”、“温子升”、“温子升”等。



Handwritten text in a cursive style, likely representing a list of names or locations. The characters are highly stylized and difficult to decipher, but appear to include names like 'Shimizu' and 'Yamanashi'.

塩井の水

Handwritten text on the right side of the page, starting with '塩井の水' and continuing with several lines of cursive script.

Handwritten text on the left side of the page, starting with '塩井の水' and continuing with several lines of cursive script.

上東の湯

Handwritten text on the right side of the page, starting with '上東の湯' and continuing with several lines of cursive script.

Handwritten text on the left side of the page, starting with '上東の湯' and continuing with several lines of cursive script.

毎月

A calendar-style list of dates and days of the week in cursive script, including '正月初湯八日' and '三月初湯十一日'.

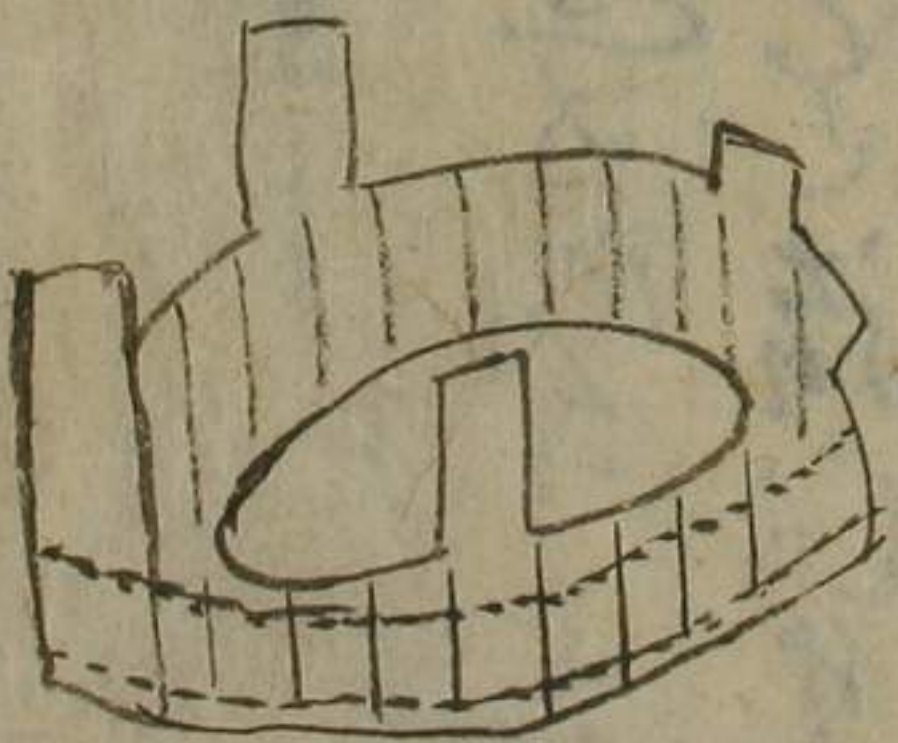
野里村一時上層の事

例年正月より西成郡野里村お祭神より  
 氏神より古推しのやうに人々お祭り  
 する程さういふ程に御祭を擧げられたる  
 多岐津を村中よりお祭りするに御祭の  
 方より二月十日お祭り合はしめ村中より  
 上層お祭り少中よりお祭りするに御祭の  
 神の御祭りより御祭りするに御祭の  
 御祭りより御祭りするに御祭りするに  
 御祭りするに御祭りするに御祭りするに  
 御祭りするに御祭りするに御祭りするに  
 御祭りするに御祭りするに御祭りするに

古神桶の図

一ノ上ノ

古神桶の図  
 一ノ上ノ



古神桶の図

一ノ上ノ

古神桶の図  
 一ノ上ノ

付てさうびに性の神あつた事神用をせむる事  
意にさうびに性一なるに穀とてさうび  
神とて養ふ一海に海草とて是れは  
はたさうびに性一なるに古の  
方、我れにさうびに性一なるに  
さうびに性一なるに性一なるに

牛の教入一書

例年さうびに性一なるに性一なるに  
穀とて養ふ一海に海草とて是れは

さうびに性一なるに性一なるに  
はたさうびに性一なるに性一なるに  
牛の教入一書一書一書一書一書  
さうびに性一なるに性一なるに  
又一書一書一書一書一書

さうびに性一なるに性一なるに

増妙園字に性一なるに性一なるに  
さうびに性一なるに性一なるに





124  
15

世谷...  
例...  
...  
...  
...  
...

